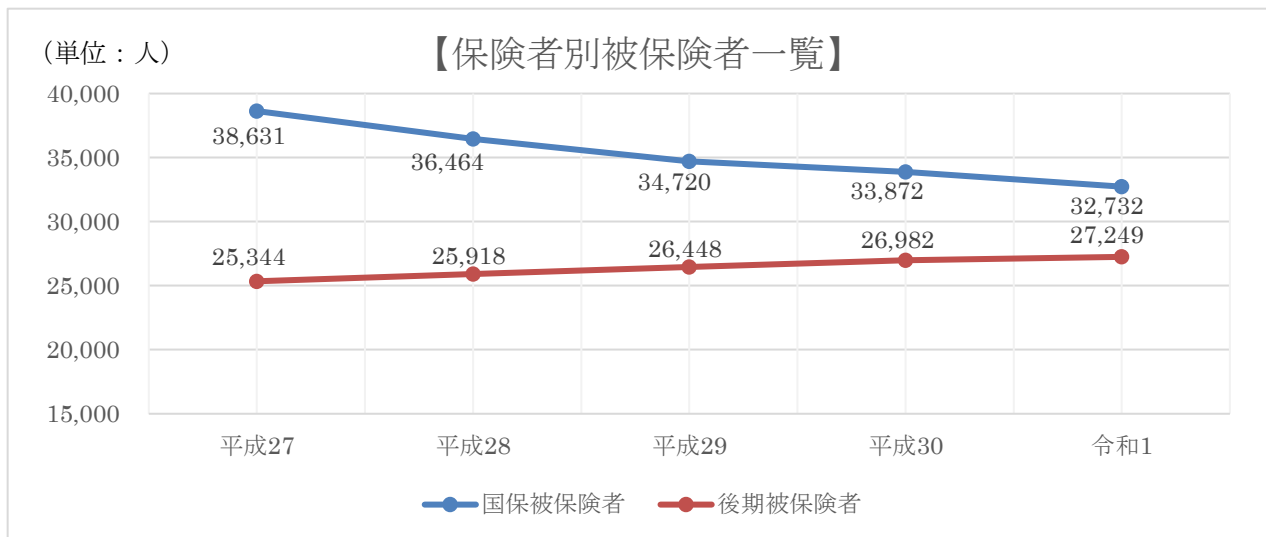


## 【国民健康保険と後期高齢者医療の医療状況等について】

### 1. 国民健康保険被保険者と後期高齢者医療保険被保険者の現状について

#### (1) 被保険者数の推移



	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1
国保被保険者	38,631	36,464	34,720	33,872	32,732
後期被保険者	25,344	25,918	26,448	26,982	27,249

※主要施策の成果説明（年度末数値）

○国保被保険者は減り続け、後期高齢被保険者は増え続けている。今後、国保の団塊の世代が後期に流れることから、この傾向はもう数年続くと予想する。

#### (2) 山口県における高齢化の状況

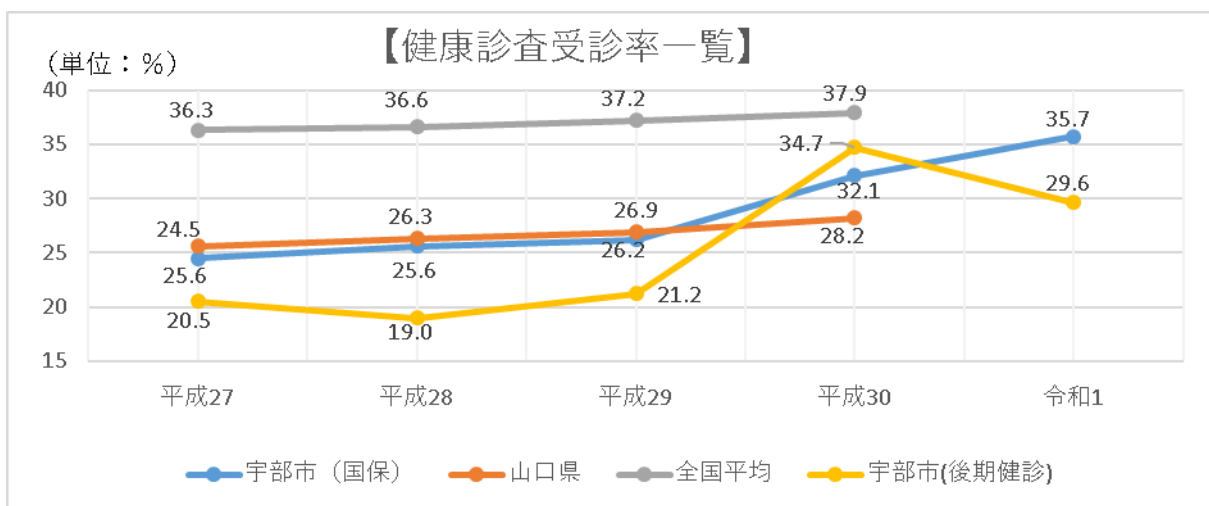
【平成30年度高齢化の状況】

1位	秋田県	36.4
2位	高知県	34.8
3位	島根県	34.0
4位	山口県	33.9
5位	徳島県	33.1
—	全国平均	28.1

※令和元年度高齢化社会白書

○山口県の高齢化率（県内人口に占める65歳以上の割合）は、全国的にも非常に高い状況にある。

(3) 健康診査の受診状況



※法定報告等

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1
宇部市(国保)	24.5	25.6	26.2	32.1	35.7
(県内順位)	(10位)	(9位)	(9位)	(4位)	(2位)
山口県	25.6	26.3	26.9	28.2	30.6
(全国順位)	(47位)	(47位)	(47位)	(47位)	(-)
全国平均	36.3	36.6	37.2	37.9	(-)
後期健診受診率	20.5	19.0	21.2	34.7	29.6
(県内順位)	(8位)	(8位)	(8位)	(9位)	(8位)

○本市の特定健診受診率は伸び続けており、令和元年度は県内で2位である。

※後期健康診査の受診率については、広域連合の独自の基準で算出していることから参考数値。

(4) 医療費の状況

ア 医療費水準(地域差指数)について

【h29国保地域差指数(全国)の状況】

1位	佐賀県	1.207
2位	鹿児島県	1.174
3位	長崎県	1.163
4位	大分県	1.151
5位	山口県	1.147
-	全国平均	1.000

【h29地域差指数(県内)の状況】

1位	美祢市	1.348
2位	宇部市	1.259
3位	防府市	1.214
4位	下関市	1.211
5位	山陽小野田市	1.193
-	県内平均	1.171

※厚労省資料(医療費の地域差分析)

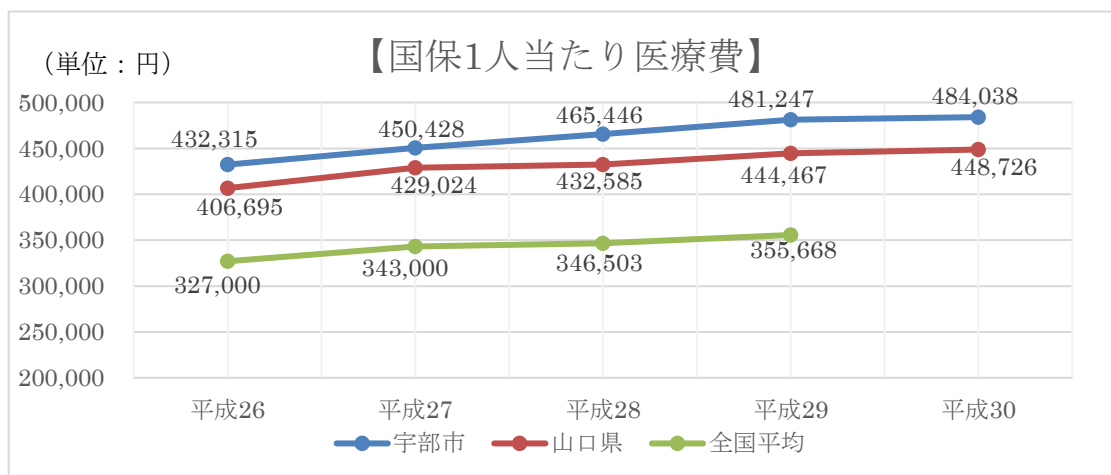
※県指導資料

○山口県の地域差指数は全国5位であり、医療費水準が高い状況にある。

また、山口県内において宇部市は県内2位と高い状況にある。

※地域差指数とは、年齢構成を調整して、全国平均を「1」とした場合の医療費の地域差を指数化したものである。

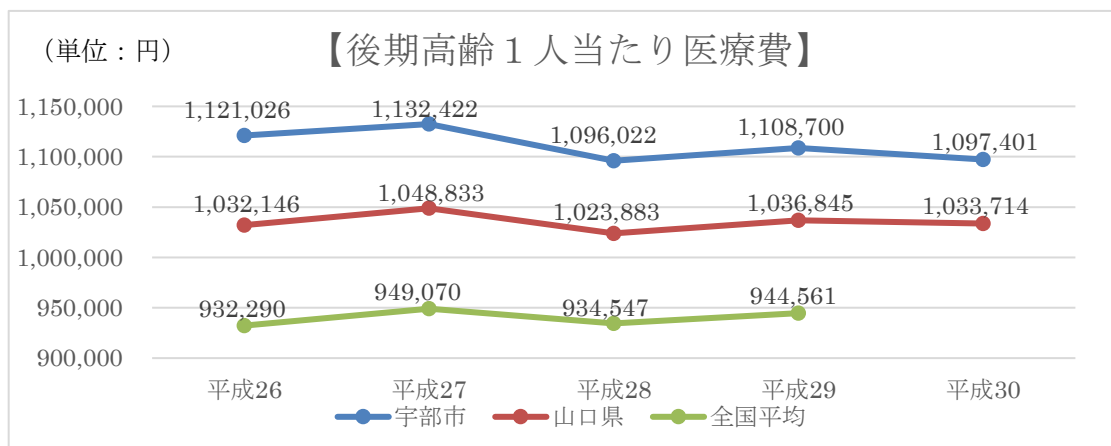
イ 国保被保険者と後期高齢被保険者の1人当たり医療費について



	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
宇部市	432,315	450,428	465,446	481,247	484,038
(県内順位)	(2位)	(3位)	(3位)	(2位)	(2位)
山口県	406,695	429,024	432,585	444,467	448,726
(全国順位)	(2位)	(2位)	(1位)	(1位)	-
全国平均	327,000	343,000	346,503	355,668	-

※県指導資料、KDBシステム

○国保1人当たりの医療費は伸び続けており、美祢市に続いて2番目に高い。また、山口県は全国で最も高く、全国平均の1.25倍（h29比）である。



【後期高齢者医療に係る1人当たり医療費の状況】

	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
宇部市	1,121,026	1,132,422	1,096,022	1,108,700	1,097,401
(県内順位)	(1位)	(2位)	(3位)	(5位)	(4位)
山口県	1,032,146	1,048,833	1,023,883	1,036,845	1,033,714
(全国順位)	(10位)	(10位)	(11位)	(12位)	-
全国平均	932,290	949,070	934,547	944,561	-

※「事業年報」

○後期高齢被保者1人当たりの医療費は年間1,000千円を超えており、高い金額で推移している。

## 2. 国民健康保険被保険者と後期高齢者医療保険被保険者の生活習慣について

(単位：%)

質問項目		国保			後期			
		宇部市	山口県	全国	宇部市	山口県	全国	
運動習慣等	週2日以上、1回30分以上の運動習慣なし	58.3	57.2	59.8	49.5	46.8	54.0	
	<b>1日1時間以上、歩行または同等の運動習慣なし</b>	<b>65.6</b>	<b>50.6</b>	<b>47.8</b>	<b>60.5</b>	<b>51.7</b>	<b>46.6</b>	
	同年代の同性と比べ歩行速度が遅い	45.6	47.8	49.7	54.4	53.7	56.4	
	習慣的に喫煙している	10.8	10.3	13.8	4.2	4.1	4.8	
	20歳時体重から10kg以上増加した	32.5	31.0	34.1	27.3	24.8	26.8	
食習慣	咀嚼やく	何でもかめる	78.4	77.3	79.9	81.1	80.4	73.9
		かみにくい	20.7	21.8	19.3	18.1	18.3	24.6
		ほとんどかめない	0.9	0.9	0.8	0.8	1.3	1.5
	食べる速度	早い	27.8	27.0	27.5	18.6	18.5	18.7
		ふつう	64.0	64.6	64.5	69.3	68.4	67.5
		遅い	8.2	8.3	8.1	12.1	13.1	13.8
	週3回以上、就寝前2時間以内に夕食	12.3	13.5	16.3	14.7	16.1	17.6	
	3食以外に間食や甘いものを摂る	毎日	22.0	24.2	20.4	19.6	21.7	17.9
		ときどき	52.7	55.1	57.5	57.0	57.6	58.5
		ほとんど摂取しない	25.3	20.7	22.0	23.1	20.8	23.6
週3回以上、朝食を抜く	7.3	6.5	9.0	3.4	3.2	4.0		
飲酒等	飲酒習慣	毎日	25.0	25.9	25.5	18.1	19.4	17.8
		ときどき	21.5	20.8	22.6	17.2	16.9	17
		飲まない	53.5	53.3	51.9	64.7	63.6	65.9
	1日の飲酒量	1合未満	76.0	73.9	64.6	84.2	85.2	79.6
		1～2合	18.2	19.0	23.5	13.5	12.7	16.5
		2～3合	4.9	6.0	9.2	2.2	1.9	3.4
		3合以上	0.9	1.1	2.7	0.1	0.2	0.5
寝ても疲れが十分とれない	28.2	24.9	25.7	25.4	24.4	21.6		
生活改善意欲	運動や食習慣等の生活改善意欲	<b>改善する予定なし</b>	<b>43.3</b>	<b>30.1</b>	<b>28.7</b>	<b>38.4</b>	<b>47.2</b>	<b>45.8</b>
		<b>改善する予定(半年以内に始める)</b>	<b>7.3</b>	<b>28.3</b>	<b>28.4</b>	<b>22.2</b>	<b>16.9</b>	<b>19.3</b>
		近いうちにする(少し始めている)	20.8	13.0	13.5	9.1	7.4	9.3
		取り組み済み(6か月未満)	10.1	9.1	8.3	5.9	5.4	5.6
		取り組み済み(6か月以上)	18.6	19.6	21.1	24.4	23.1	21.6

※令和元年度質問票(KDBより)

○国保被保険者については、「運動習慣がない」と「生活改善する意欲がない」といった傾向が強い。

後期高齢被保険者については、生活改善意欲については全国平均と同等レベルまで改善されているが、運動習慣については依然として低いままである。

令和2年度は、被保険者の意識を改善することを目的に手軽にできる健康づくり動画を作成する。

### 3. 国民健康保険被保険者と後期高齢者医療保険被保険者の健診結果について

令和元年度健診有所見者状況【国保】		(単位:%)		
検査項目	(国:保健指導値)	宇部市	山口県	全国
空腹時血糖	100mg/dl以上	<b>31.0</b>	26.6	23.7
HbA1C	5.6%以上	<b>56.4</b>	50.5	57.2
中性脂肪	150mg/dl以上	18.2	19.0	21.3
HDLコレステロール	40mg/dl未満	3.3	3.1	4.2
LDLコレステロール	120mg/dl以上	54.9	56.6	53.4
収縮期血圧	130mmHg以上	48.8	48.9	45.5
拡張期血圧	85mmHg以上	17.6	18.6	19.3
GPT	31U/L以上	13.4	13.0	14.2

※令和元年度KDBシステム

令和元年度健診有所見者状況【後期】		(単位:%)		
検査項目	(国:受診勧奨値)	宇部市	山口県	全国
空腹時血糖	126mg/dl以上	<b>6.3</b>	5.4	4.7
HbA1C	6.5%以上	9.9	9.3	10.9
中性脂肪	300mg/dl以上	1.0	1.2	1.5
HDLコレステロール	35mg/dl未満	1.6	1.3	2.0
LDLコレステロール	140mg/dl以上	20.4	23	19.2
収縮期血圧	140mmHg以上	28.4	30.8	31.2
拡張期血圧	90mmHg以上	5.8	5.5	5.8
GPT	51U/L以上	1.6	1.4	1.5

※令和元年度KDBシステム

○全国、山口県と比較して、国保被保険者、後期高齢被保険者にかかわらず、血糖値が高い人が多い傾向にある。国保被保険者のHbA1C値は、約60%の人に指導が必要な状況である。

そのため、糖尿病性腎症重症化予防プログラム及び糖尿病未治療者受診勧奨業務を実施する。

※後期高齢健診は保健指導が義務付けられていないので、受診勧奨値で算出。

#### 4. 国保被保険者と後期高齢被保険者の疾病状況について

##### (1) 国民健康保険

【国保】		
レセプト件数	順位	病名
入院	1位	統合失調症等
	2位	消化器系の疾患（その他）
	3位	神経系の疾患（その他）
	4位	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	5位	悪性新生物＜腫瘍＞（その他）
	6位	呼吸器系の疾患（その他）
	7位	心疾患（その他）
	8位	骨折
	9位	その他（以外のもの）
	10位	腎不全

【国保】		
総点数	順位	病名
入院	1位	統合失調症等
	2位	悪性新生物＜腫瘍＞（その他）
	3位	心疾患（その他）
	4位	呼吸器系の疾患（その他）
	5位	神経系の疾患（その他）
	6位	骨折
	7位	腎不全
	8位	脳梗塞
	9位	消化器系の疾患（その他）
	10位	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）

【国保】		
レセプト件数	順位	病名
外来	1位	<b>高血圧性疾患</b>
	2位	<b>脂質異常症</b>
	3位	<b>糖尿病</b>
	4位	眼及び付属器の疾患（その他）
	5位	その他（以外のもの）
	6位	神経系の疾患（その他）
	7位	心疾患（その他）
	8位	消化器系の疾患
	9位	皮膚炎及び湿疹
	10位	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）

【国保】		
総点数	順位	病名
外来	1位	<b>腎不全</b>
	2位	糖尿病
	3位	高血圧性疾患
	4位	脂質異常症
	5位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞
	6位	心疾患（その他）
	7位	眼及び付属器の疾患（その他）
	8位	消化器系の疾患
	9位	神経系の疾患（その他）
	10位	炎症性多発性関節障害

※令和元年度KDBシステム

○国保の入院・・・レセプト件数、総点数ともに統合失調症等が最も高い。

国保の外来・・・レセプト件数は特定保健指導の指標に関係する、高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病が上位であり、総点数については腎不全が最も高い。

特定保健指導を利用してもらうことが重要である。

(後期高齢者医療)

【後期】		
レセプト件数	順位	病名
入院	1位	骨折
	2位	心疾患（その他）
	3位	脳梗塞
	4位	筋骨格系及び結合組織の疾患（その他）
	5位	その他（以外のもの）
	6位	肺炎
	7位	腎不全
	8位	消化器系の疾患（その他）
	9位	呼吸器系の疾患（その他）
	10位	悪性新生物＜腫瘍＞（その他）

【後期】		
総点数	順位	病名
入院	1位	骨折
	2位	心疾患（その他）
	3位	脳梗塞
	4位	筋骨格系及び結合組織の疾患（その他）
	5位	腎不全
	6位	悪性新生物＜腫瘍＞（その他）
	7位	呼吸器系の疾患（その他）
	8位	その他（以外のもの）
	9位	肺炎
	10位	消化器系の疾患（その他）

【後期】		
レセプト件数	順位	病名
外来	1位	高血圧性疾患
	2位	眼及び付属器の疾患（その他）
	3位	心疾患（その他）
	4位	糖尿病
	5位	脂質異常症
	6位	骨の密度及び構造の障害
	7位	関節症
	8位	消化器系の疾患（その他）
	9位	アルツハイマー病
	10位	腎尿路系の疾患（その他）

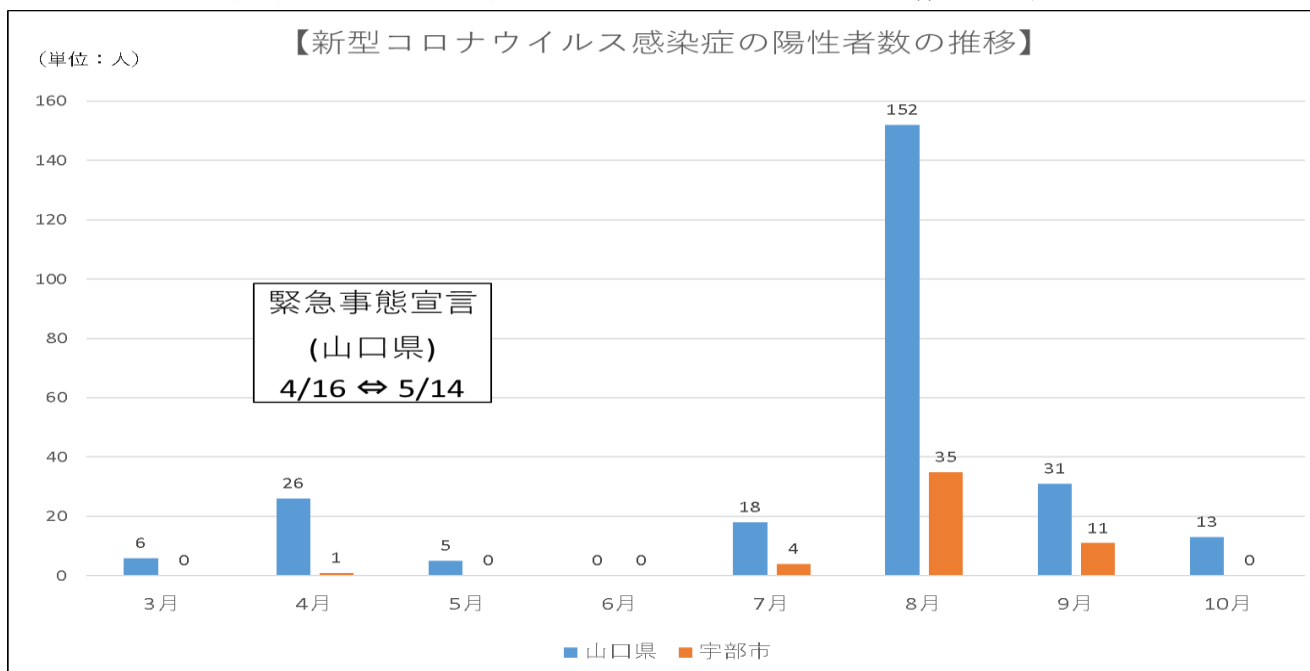
【後期】		
総点数	順位	病名
外来	1位	心疾患（その他）
	2位	腎不全
	3位	糖尿病
	4位	高血圧性疾患
	5位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞
	6位	眼及び付属器の疾患（その他）
	7位	脂質異常症
	8位	骨の密度及び構造の障害
	9位	消化器系の疾患（その他）
	10位	アルツハイマー病

※令和元年度KDBシステム

- 後期の入院・・・レセプト件数、総点数ともに骨折が最も高い。  
 後期の外来・・・レセプト件数、総点数ともに類似した疾病が上がっている。  
 一次予防として健康教室の実施やスポーツ・レクリエーションの奨励が必要である。  
 また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施も必要である。

## 5. 新型コロナウイルス感染症の状況について

### (1) 山口県・宇部市における新型コロナウイルス感染症の陽性者数



※山口県ホームページ

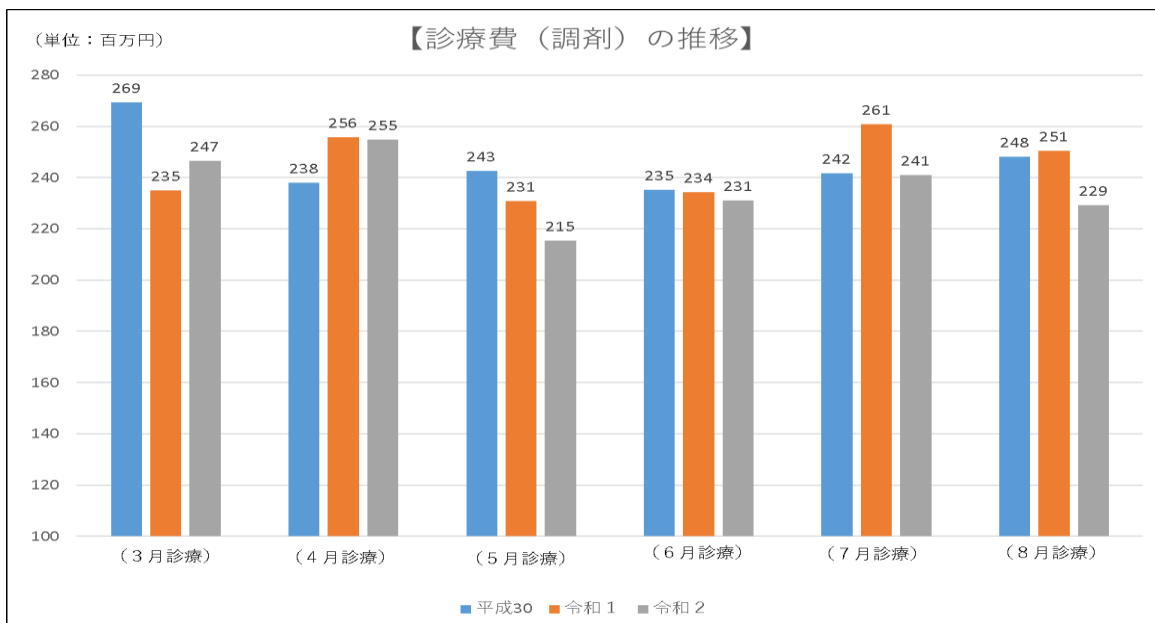
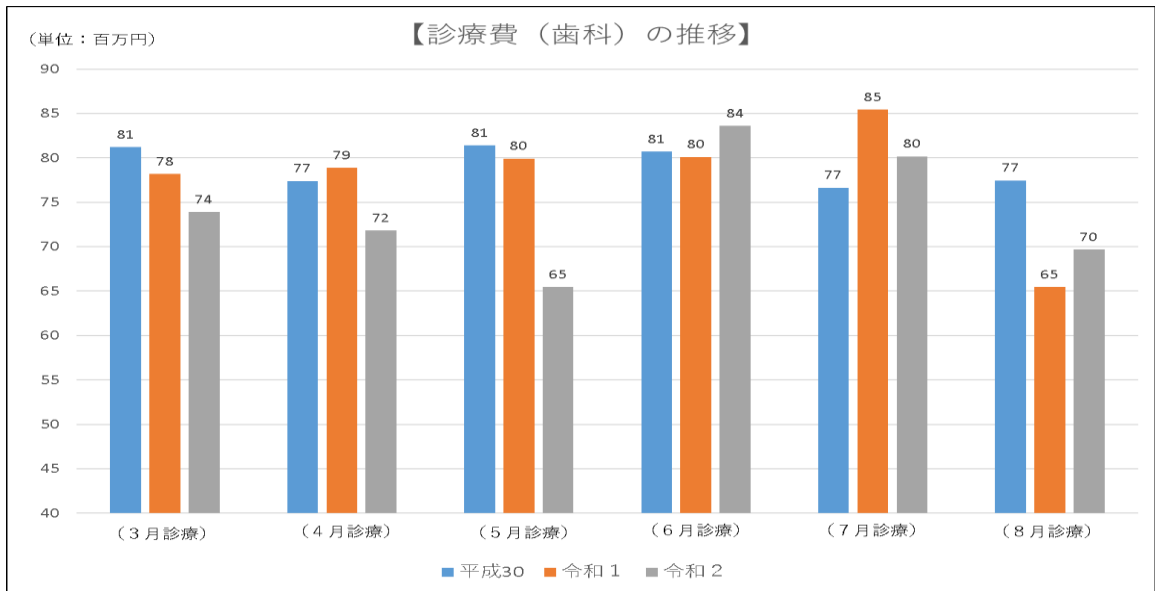
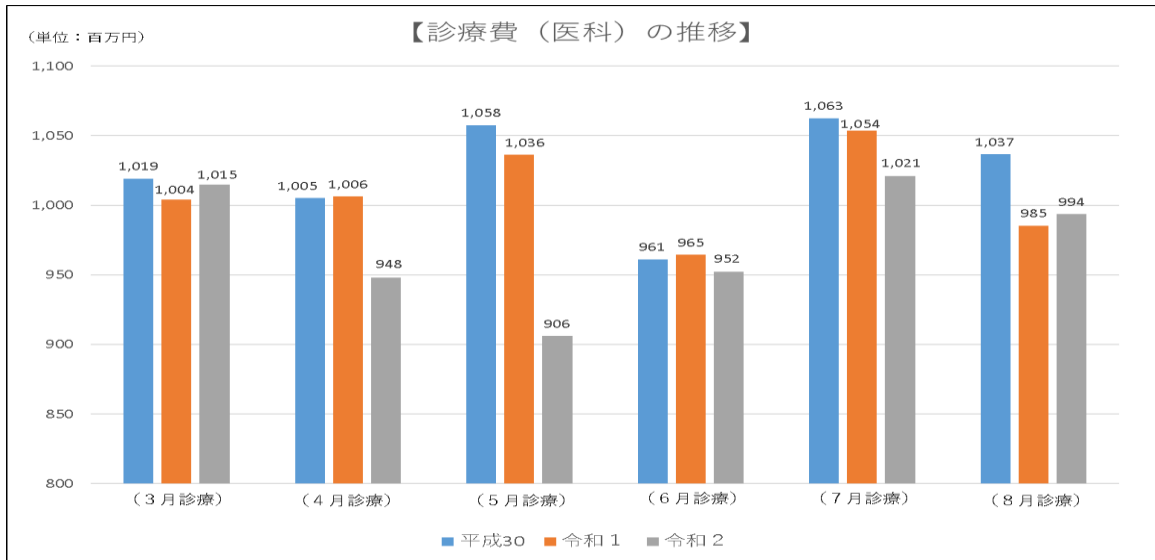
### (2) 国民健康保険 一般被保険者の診療費の推移

(医科)	3月診療		4月診療		5月診療		6月診療		7月診療		8月診療	
	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)
平成30	1,019,157,410	-4.5%	1,005,125,100	4.0%	1,057,565,450	4.1%	961,164,660	-5.4%	1,062,545,530	1.5%	1,036,697,940	-2.3%
令和1	1,004,097,010	-1.5%	1,006,332,750	0.1%	1,036,167,550	-2.0%	964,547,980	0.4%	1,053,638,640	-0.8%	985,393,140	-4.9%
令和2	1,014,717,130	<b>1.1%</b>	948,099,980	<b>-5.8%</b>	906,036,240	<b>-12.6%</b>	952,269,900	<b>-1.3%</b>	1,020,945,930	<b>-3.1%</b>	993,616,570	<b>0.8%</b>
(歯科)	3月診療		4月診療		5月診療		6月診療		7月診療		8月診療	
	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)
平成30	81,204,710	-4.7%	77,388,780	-3.8%	81,399,160	-0.1%	80,704,850	-6.5%	76,637,990	-6.7%	77,461,780	6.4%
令和1	78,176,910	-3.7%	78,883,630	1.9%	79,925,390	-1.8%	80,102,870	-0.7%	85,444,000	11.5%	65,468,300	-15.5%
令和2	73,894,670	<b>-5.5%</b>	71,810,960	<b>-9.0%</b>	65,469,710	<b>-18.1%</b>	83,619,890	<b>4.4%</b>	80,176,510	<b>-0.2%</b>	69,682,550	<b>6.4%</b>
(調剤)	3月診療		4月診療		5月診療		6月診療		7月診療		8月診療	
	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)	費用額(円)	(前年比)
平成30	269,359,640	2.9%	238,091,820	-3.6%	242,606,040	-0.6%	235,281,600	-2.4%	241,765,560	-1.3%	248,132,990	2.0%
令和1	235,117,190	-12.7%	255,700,970	7.4%	230,818,530	-4.9%	234,340,360	-0.4%	260,807,280	7.9%	250,583,570	1.0%
令和2	246,652,990	<b>4.9%</b>	254,870,100	<b>-0.3%</b>	215,408,140	<b>-6.7%</b>	231,181,440	<b>-1.3%</b>	240,979,000	<b>-7.6%</b>	229,217,990	<b>-8.5%</b>

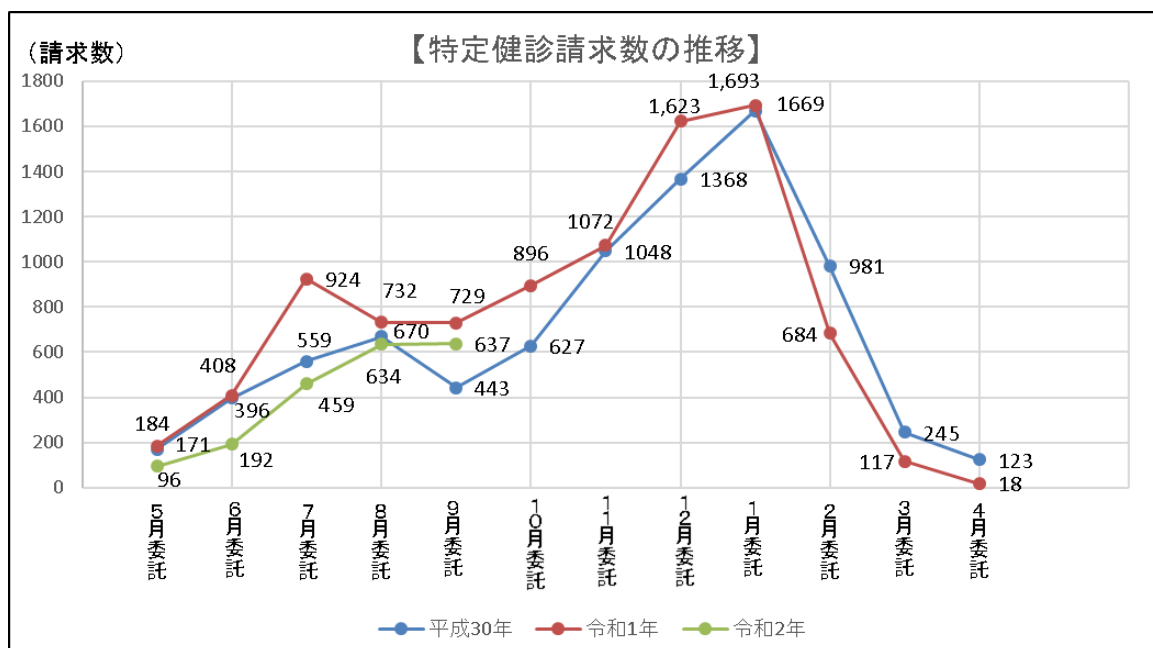
※国保連資料(確定額通知書)

- 全国一律に新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令された4月から診療費は大きく下がっている。診療費の中でも特に歯科の落ち込みが大きい。調剤についても下がっているが、医科や歯科より落ち込みは小さい。





(3) 特定健康診査受診者数の推移



※特定健診請求数

○新型コロナウイルス感染症の影響により上半期の特定健診受診者数は低調である。